

学びかた

学校の授業では

① 学ぶための道具をそろえる

◆毎日の学習に必要な持ち物です。忘れずに準備しましょう。

【筆入れの中に】

- けずった鉛筆 5～6本 消しゴム（白） 定規
- 赤ペンと青ペン（1・2年は赤と青の色鉛筆） ネームペン（1年は道具袋）

【道具袋や机の中に】

- のり はさみ 色鉛筆（クーピーなど） クレヨン
- 30cmものさし（2年以上） 三角定規（2年以上）
- コンパス（3年以上） 分度器（4年以上） 国語辞典（3年以上）

② 目と心で話を聞く

◆聞くことがすべての基本。聞くことで、自分の理解が深まります。

- 話す人の方を向いて聞く。
- わかったことは、うなずいたり、メモをとったりしながら聞く。
- 話を最後まで聞き、話の途中で口をはさまない。

③ 思いや考えを自分のことばで伝える

◆自分の考えをしっかりと伝えることで、自分の理解を確かめます。

- みんなに聞こえる声の大きさを話す。（声のものさし）
- きちんと立って話す。
- みんなの方を向いて話す。
- 最後まできちんと話す。

●身につけたい発表のルール

自分の考えをはっきりと話したり、友だちの発表を受けて発表したりするときに役立ちます。聞く人も、とても聞きやすくなります。

(話し方)

- 理由を話す 「どうしてかというと・・・」
- つけたして話す ○〇さんに「つけたして・・・」, 「くわしくいうと・・・」
- くらべて話す 「○〇さん「にいて・・・」, 「ちがって・・・」
- 例をあげて話す 「たとえば・・・」

(聞き方)

- なぜか、本当か、正しいのかを考えながら聞く
- わかりやすくできないか考えながら聞く
- くらべながら聞く
- よりよい方法を考えながら聞く

④学習に集中するために

◆学習の基本として、次の約束をします。

望ましい生活習慣が学習習慣につながります。学習でも生活でも

「あいさつ・返事・後始末」を大切にします。

- 挙手するときは、手をしっかり伸ばす。
- 呼ばれたら必ずはっきりとした返事をする。
- 席を離れるときは、いすを入れる。
- 片付けをして、次の時間の準備をする。(後始末は準備につながる)

ノートの使い方

◆次の点を基本とし、学年に応じた方法でノートを使います。

① ノートと筆記用具

- ◎ノートのサイズ，マス目の大きさ，罫線の広さは，学年にあったものを使用します。
- ◎下敷きを使用します。
- ◎色ペンは，赤と青を使います。1・2年は色鉛筆，3年以上は学年にあったものを使用します。

② ノートに書くときは

◎先生の板書をノートに残してふり返りができるようにします。

< 黒板 >		< ノート >
日にち・曜日を書く	→	約束の場所を書く
本時のめあてを書く	→	青で囲む
本時のまとめを書く	→	赤で囲む
本時のふり返りを書く	→	決められたところに書く

③ その他の約束

- ◎学習の集中を妨げるような，消しゴムやカラーペンは使いません。
もちろん，学習に不必要なものは持ってきません。
- ◎算数は，答えだけではなく途中の式をていねいに書きます。式は世界共通の算数の言葉です。ことがらを式に表したり，式の意味を読み取ったりする力をつけることが大切です。
- ◎答え合わせをして，間違えていたところは消さずに，赤ペン等で直します。
- ◎びしっとつめて書かないようにします。行をゆっくりあけ，必要なコメントなどを書けるようにします。見やすいノートづくりに心がけます。
- ◎ノートは最後の1ページまで丁寧に使います。
- ◎学習シートを貼るときは，はみ出さないように貼ります。
- ◎学習感想・ふり返りを書くなどして，その時間の自分の学習を評価します。